

血液内科

Hematology

教授	佐藤 勉	Tsutomu Sato
助教(兼)	村上 純	Jun Murakami
助教(兼)	和田 暁法	Akinori Wada
助教(兼)	在田幸太郎	Kotaro Arita

◆ 原著

- 1) Okada M, Imagawa J, Tanaka H, Nakamae H, Hino M, Murai K, Ishida Y, Kumagai T, Sato S, Ohashi K, Sakamaki H, Wakita H, Uoshima N, Nakagawa Y, Minami Y, Ogasawara M, Takeoka T, Akasaka H, Utsumi T, Uike N, Sato T, Ando S, Usuki K, Mizuta S, Hashino S, Nomura T, Shikami M, Fukutani H, Ohe Y, Kosugi H, Shibayama H, Maeda Y, Fukushima T, Yamazaki H, Tsubaki K, Kukita T, Adachi Y, Nataduka T, Sakoda H, Yokoyama H, Okamoto T, Shirasugi Y, Onishi Y, Nohgawa M, Yoshihara S, Morita S, Sakamoto J, Kimura S; DADI Trial Group, Japan. Final 3-year Results of the Dasatinib Discontinuation Trial in Patients With Chronic Myeloid Leukemia Who Received Dasatinib as a Second-line Treatment. *Clin Lymphoma Myeloma Leuk*. 2018 May; 18(5): 353-60.e1.
- 2) Matsue K, Kumagai K, Sugiura I, Ishikawa T, Igarashi T, Sato T, Uchiyama M, Miyamoto T, Ono T, Ueda Y, Kiguchi T, Sunaga Y, Sasaki T, Suzuki K. Correction to: Plerixafor for mobilization and collection of haematopoietic stem cells for autologous transplantation in Japanese patients with non-Hodgkin lymphoma: a randomized phase 2 study. *Int J Hematol*. 2018 Nov; 108(5): 524-34.
- 3) Takamatsu H, Wee RK, Zaimoku Y, Murata R, Zheng J, Moorhead M, Carlton VEH, Kong KA, Takezako N, Ito S, Miyamoto T, Yokoyama K, Matsue K, Sato T, Kurokawa T, Yagi H, Terasaki Y, Ohata K, Matsumoto M, Yoshida T, Faham M, Nakao S. A comparison of minimal residual disease detection in autografts among ASO-qPCR, droplet digital PCR, and next-generation sequencing in patients with multiple myeloma who underwent autologous stem cell transplantation. *Br J Haematol*. 2018 Nov; 183(4): 664-8.
- 4) Fukuoka K, Kanemura Y, Shofuda T, Fukushima S, Yamashita S, Narushima D, Kato M, Honda-Kitahara M, Ichikawa H, Kohno T, Sasaki A, Hirato J, Hirose T, Komori T, Satomi K, Yoshida A, Yamasaki K, Nakano Y, Takada A, Nakamura T, Takami H, Matsushita Y, Suzuki T, Nakamura H, Makino K, Sonoda Y, Saito R, Tominaga T, Matsusaka Y, Kobayashi K, Nagane M, Furuta T, Nakada M, Narita Y, Hirose Y, Ohba S, Wada A, Shimizu K, Kurozumi K, Date I, Fukai J, Miyairi Y, Kagawa N, Kawamura A, Yoshida M, Nishida N, Wataya T, Yamaoka M, Tsuyuguchi N, Uda T, Takahashi M, Nakano Y, Akai T, Izumoto S, Nonaka M, Yoshifuji K, Kodama Y, Mano M, Ozawa T, Ramaswamy V, Taylor MD, Ushijima T, Shibui S, Yamasaki M, Arai H, Sakamoto H, Nishikawa R, Ichimura K; Japan Pediatric Molecular Neuro-Oncology Group (JPMNG). Significance of molecular classification of ependymomas: C11orf95-RELA fusion-negative supratentorial ependymomas are a heterogeneous group of tumors. *Acta Neuropathol Commun*. 2018 Dec; 6(1): 134.

◆ 症例報告

- 1) Arita K, Niimi H, Yamagishi N, Ueno T, Kitajima I, Sugiyama T. Factor X heterozygous mutation in a patient with potential risk of bleeding: A case report. *Medicine (Baltimore)*. 2018 Jun; 97(23): e10950.
- 2) Akashi M, Tajiri K, Wada A, Tsuneyama K, Kawai K, Yasumura S, Minemura M, Takahara T, Sugiyama T. A Patient with Non-alcoholic Steatohepatitis Complicated by Multiple Myeloma. *Intern Med*. 2018 Jul; 57(14): 2013-8.
- 3) Sugiyama T, Arita K, Shinno E, Nakajima T. Spontaneous remission of diffuse large B cell lymphoma in the stomach and the continuation of remission for 10 years. *Case Rep Gastroenterol*. 2018; 12: 699-703.
- 4) 箕輪智幸, 加藤潤史, 江畑可奈子, 高橋仁美, 澤田匡秀, 佐藤さゆり, 堀本浩平, 肥田時征, 宇原 久, 佐藤 勉. BRAF/MEK 阻害薬が奏効した G-CSF 産生悪性黒色腫の 1 例. *西日本皮膚科*. 2018 Jun ; 80(3) : 290.
- 5) 相原久美子, 橋田早希, 松熊美千代, 小川千鶴, 立石美紀, 成田柚子, 増田亜希子, 佐藤 勉, 森 正也. 赤芽球の著明な増加を認めた骨髄異形成症候群の一例. *日本検査血液学会雑誌*. 2018 Jun ; 19 : S193.

◆ 学会報告

- 1) 在田幸太郎, 村上 純, 和田暁法, 杉山敏郎. 小児期発症の染色体異常を伴う造血不全に対する血縁者間同種骨髄移植. 第40回日本造血細胞移植学会総会; 2018 Feb 1-3; 札幌.
- 2) 江口基紀, 和田暁法, 在田幸太郎, 村上 純, 杉山敏郎. 自家移植後にマルチパラメーターフローサイトメトリーを用いて微小残存病変測定を施行した多発性骨髄腫例. 第40回日本造血細胞移植学会総会; 2018 Feb 1-3; 札幌.
- 3) 加藤憲穂, 米原帆乃夏, 吉田優真, 木村あい, 中本敬子, 川田明美, 柏崎由美, 在田幸太郎, 和田暁法, 村上 純. 内科混合病棟における擦式手指用アルコール剤を使用した手指衛生の実態調査. 第40回日本造血細胞移植学会総会; 2018 Feb 1-3; 札幌.
- 4) 中山優吏佳, 在田幸太郎, 島田清太郎, 江口基紀, 和田暁法, 村上 純, 杉山敏郎. 骨髄線維症に対するルキソリチニブ投与中に生じたシイタケ腐敗病菌菌血症と脾腫瘍. 第234回日本内科学会北陸地方会; 2018 Mar 18; 福井.
- 5) 大槻晋也, 安村 敏, 道野淳子, 中出祥代, 佐竹伊津子, 富山隆介, 吉田隼太, 島 京子, 在田幸太郎, 和田暁法, 村上 純, 北島 勲. RhD 陰性患者への不適合輸血の対応について. 第66回日本輸血・細胞治療学会総会; 2018 May 24-26; 宇都宮.
- 6) 富山隆介, 安村 敏, 大槻晋也, 吉田隼太, 佐竹伊津子, 中出祥代, 道野淳子, 島 京子, 在田幸太郎, 和田暁法, 村上 純, 北島 勲. 外来輸血において輸血手帳の運用による安全な輸血への取り組み. 第66回日本輸血・細胞治療学会総会; 2018 May 24-26; 宇都宮.
- 7) 古川史奈, 牧野輝彦, 竹本景太, 清水忠道, 在田幸太郎. マントル細胞リンパ腫に伴った皮膚サルコイド反応の1例. 第117回日本皮膚科学会総会; 2018 May 31-Jun 3; 広島.
- 8) 若林奈央, 牧野輝彦, 竹本景太, 在田幸太郎, 清水忠道. Parakeratosis variegata を呈した成人 T 細胞白血病/リンパ腫の1例. 第117回日本皮膚科学会総会; 2018 May 31-Jun 3; 広島.
- 9) 梶川清芽, 在田幸太郎, 中山優吏佳, 村上 純, 江口基紀, 和田暁法, 杉山敏郎. 稽留流産を契機に診断されたアグレッシブ NK 細胞白血病. 第58回日本リンパ網内系学会総会; 2018 Jun 28-30; 名古屋.
- 10) 米田徳子, 伊藤実香, 福田香織, 在田幸太郎, 野村恵子, 米田 哲, 塩崎有宏, 齋藤 滋. 血友病 A ならびに B 保因者妊婦 2 例への遺伝カウンセリング. 第42回日本遺伝カウンセリング学会学術集会; 2018 Jun 28-Jul 1; 仙台.
- 11) 滝澤大輝, 村上 純, 在田幸太郎, 和田暁法, 佐藤 勉. リツキシマブが奏効した関節リウマチ合併免疫性血小板減少性紫斑病. 第36回血液学会北陸地方会; 2018 Jul 28; 金沢.
- 12) 村上 純, 在田幸太郎, 和田暁法, 佐藤 勉. 鉄欠乏に伴う反応性血小板増加の症例. 第42回日本鉄バイオサイエンス学会学術集会; 2018 Sep 1-2; 金沢.
- 13) 村井沙耶佳, 在田幸太郎, 和田暁法, 村上 純, 佐藤 勉. 胃潰瘍性病変に共存した胃癌と心臓原発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の合併例. 第236回日本内科学会北陸地方会; 2018 Sep 30; 富山.
- 14) 和田暁法, 江口基紀, 在田幸太郎, 村上 純, 杉山敏郎, 佐藤 勉, 山崎悠紀, 林 伸一, 高松博幸. 髄外腫瘤増悪に対し DLd による再寛解導入を施行した多発骨髄腫例 (Re-induction of multiple myeloma with extramedullary progression by using DLd regimen). 第80回日本血液学会学術集会; 2018 Oct 12-14; 大阪.
- 15) 中山優吏佳, 在田幸太郎, 梶川清芽, 村上 純, 中嶋隆彦, 井村穰二, 渡辺駿七郎, 和田暁法, 杉山敏郎, 佐藤 勉. Spontaneous regression of breast diffuse large B-cell lymphoma after needle biopsy. 第80回日本血液学会学術集会; 2018 Oct 12-14; 大阪.
- 16) 道野淳子, 安村 敏, 佐竹伊津子, 中出祥代, 富山隆介, 吉田隼太, 大槻晋也, 山本由加里, 村上 純, 和田暁法, 北島 勲. reference laboratory としての腎移植・輸血検査の現状. 第36回日本輸血・細胞治療学会北陸支部例会; 2018 Nov 10; 高岡.
- 17) 杉江奈々, 在田幸太郎, 上野智浩, 仁井見英樹, 北島 勲. 術後止血困難を来した先天性第 X 因子欠乏症ヘテロ接合型の1例. 第65回日本臨床検査医学学術集会; 2018 Nov 15-18; 東京.

◆ その他

- 1) 佐藤 勉. 血液内科医を志す学生を育てる. 北日本新聞. 2018 Jun 9.
- 2) 佐藤 勉. 造血器腫瘍の遺伝子検査や創薬研究でワンランク上をめざす. 医心. 2018 Oct; 69: 20-4.
- 3) 佐藤 勉. ワンランク上のキャリア形成. 第1回富山大学専門研修プログラム説明会; 2018 Jun 1; 富山.
- 4) 佐藤 勉. Better Bone Health for Lymphoma Survivors. 第一三共社内研修会; 2018 Jul 9; 富山.
- 5) 佐藤 勉. DPP8 阻害剤による骨髄腫治療の可能性. 新規 DPP8/9 阻害剤による多発性骨髄腫治療薬開発に向けたアカデミア創薬キックオフミーティング; 2018 Aug 7; 東京.

- 6) 佐藤 勉. 悪性リンパ腫の病態と治療. 協和発酵キリン社内研修会 ; 2018 Aug 27 ; 富山.
- 7) 佐藤 勉. CML 治療の経験. ノバルティスファーマ社内研修会 ; 2018 Sep 6 ; 富山.
- 8) 佐藤 勉. アカデミア創薬を目指す DPP8 阻害を機序とする多発性骨髄腫の新規治療法. Toyama Academic GALA 2018 ; 2018 Sep 14 ; 富山.
- 9) 佐藤 勉. T 細胞リンパ腫と多発性骨髄腫. セルジーン社内研修会 ; 2018 Oct 1 ; 富山.
- 10) 佐藤 勉. FLT3 の変異と阻害剤. アステラス社内研修会 ; 2018 Oct 29 ; 富山.
- 11) 佐藤 勉. ワンランク上の血液内科を目指して. 第 87 回富山大学医学会学術集会教授就任記念講演会 ; 2018 Oct 31 ; 富山.
- 12) 佐藤 勉. 大学病院らしいワンランク上の血液内科を目指して. 第 9 回富山大学第三内科関連病院連携臨床・研究カンファレンス ; 2018 Nov 10 ; 富山.
- 13) 佐藤 勉. 最新の悪性リンパ腫治療. 第 53 回地域医療連携研修会 ; 2018 Nov 12 ; 富山.
- 14) 佐藤 勉. ワンランク上の診療そして人材育成. 平成 30 年度富山大学附属病院関連病院長懇談会総会 ; 2018 Nov 16 ; 富山.
- 15) 佐藤 勉. 血友病患者さんの就業環境と治療の重要性. 血液希少疾患医療関係者向け公開セミナー～血友病ってどんな病気?～ ; 2018 Nov 30 ; 富山.
- 16) 佐藤 勉. 細胞死と活性酸素—ネクロシスからアポトーシスそしてオートファジーへ—. 第 446 回放射線基礎医学セミナー ; 2018 Dec 5 ; 富山.
- 17) 佐藤 勉. B 細胞性腫瘍における BCR pathway 阻害剤. 第 1 回北陸 B 細胞性腫瘍の会 ; 2018 Dec 8 ; 富山.
- 18) 佐藤 勉. 血液内科と地域医療連携. 第 3 回地域医療連携懇話会 ; 2018 Dec 20 ; 富山.
- 19) 佐藤 勉. 多発性骨髄腫に対するアカデミア創薬—新規 DPP8 阻害剤の開発と治療応用—. 共同研究ミーティング (ファイザー) ; 2018 Dec 21 ; 富山.
- 20) 村上 純. 治療に難渋した ITP の 1 例. リツキサン適応拡大記念講演会 ; 2018 Feb 17 ; 金沢.
- 21) 村上 純. 造血幹細胞移植の進歩—当院での取り組み. 第 53 回地域医療連携研修会 ; 2018 Nov 12 ; 富山.
- 22) 和田暁法. 髄外病変再燃に対する DLd 再寛解導入例. Hematology Forum in Toyama ; 2018 Mar 2 ; 富山.
- 23) 和田暁法. 多発性骨髄腫における治療戦略. Multiple Myeloma Research & Clinical Seminar ; 2018 Mar 9 ; 金沢.
- 24) 和田暁法. 第 1 世代 TKI における休薬の経験. CML Scientific Seminar ; 2018 Mar 16 ; 金沢.
- 25) 和田暁法. 多発性骨髄腫における最新治療. セルジーン株式会社社内講演会 ; 2018 Apr 12 ; 金沢.
- 26) 和田暁法. 高齢者 RRMM に対する ELd 長期投与例. 富山県血液疾患講演会 ; 2018 Jun 15 ; 富山.
- 27) 和田暁法. 3 系統の増加を来している若年真性多血症. MPN seminar ; 2018 Sep 21 ; 富山.
- 28) 和田暁法. Late line における Kd 療法長期奏功例. 多発性骨髄腫最新治療講演会 in 富山 ; 2018 Oct 19 ; 富山.
- 29) 和田暁法. 多発性骨髄腫における治療選択. 北信越血液疾患懇話会 ; 2018 Nov 15 ; 上越.
- 30) 在田幸太郎. スライドカンファレンス 3 : 針生検後完全消失し 2 年無再発の乳腺原発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫. 第 33 回悪性リンパ腫治療研究会 ; 2018 Mar 3-4 ; 松江.
- 31) 在田幸太郎. 合併症を有する骨髄線維症患者に対するルキソリチニブによる治療経験. Novartis Hematology JAK web seminar ; 2018 Jun 4 ; 富山.
- 32) 在田幸太郎. Ponatinib が有効であった Dasatinib 抵抗性高齢者再発 Ph+ALL. Otsuka Hematology Forum 2018 ; 2018 Jul 6 ; 富山.
- 33) 在田幸太郎. DLBCL 治療後の治療関連 AML に対しアザシチジン投与中に出現したリンパ節腫脹. 富山リンパ腫の会 2018 ; 2018 Sep 7 ; 富山.
- 34) 在田幸太郎. 骨髄線維症患者に生じたまれな感染症. 富山血液感染症講演会 ; 2018 Oct 5 ; 富山.
- 35) 在田幸太郎. 造血器腫瘍. 富山県診療情報管理研究会 ; 2018 Oct 20 ; 富山.